

第29回 全国消防救助技術大会



主催 財団法人 全国消防協会

後援 自治省消防庁・全国消防長会・熊本県

助成 日本財団



火の国の大空焦がせ レスキューSPIRITS!!

(RESCUE MEET 2000 in KUMAMOTO)

2000.8.18 熊本市総合屋内プール
(アクアドームくまもと)



「火の国の大空焦がせ レスキュー SPIRITS!!」をスローガンに、第一九回全国消防救助技術大会が去る八月一八日、熊本市総合屋内プール(アクアドームくまもと)において、鈴木消防庁長官はじめ多くの来賓を迎えて盛大に挙行された。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露することも、知識・技術を相互交換することにより、ますます複雑多様化、大規模広域化する災害現場活動に即応できる高度な救助技術と強靭な体力、精神力を養うために、昭和四七年から日本財団の助成を受けて毎年実施している。この大会が、政令指定都市以外では初めての開催となる熊本市は、豊かな緑と清らかな水、さらには熊本城や水前寺公園といった名所旧跡に恵まれ、優れた伝統と文化を有する中核市として、「人にやさしく、地球にやさしい」を基本理念に発展を続けている。また、今大会は、熊本市のほか熊本県下の消防本部が一体となつて大会を支える一方、日本赤十字社の特殊車両救護車、NTTのデジタル衛

星車、陸上自衛隊の自走式トイレ車が会場に配置される等地元防災機関の協力も見られた。さて、大会当日は朝から時折小雨が降るという、これから檻舞台に立つ隊員たちにとっては少し不安な空模様となつたが、早朝より全国各地から応援に駆けつけた市民や消防関係者等約八、〇〇〇名で埋め尽くされた会場は、開会前から大きな期待と熱気に包まれた。午前九時、消防音楽隊の軽快な演奏に乗り各地区支部から選抜された九三九名の精鋭たる入場行進が開始され、助全国消防協会副会長である彦藤福岡市消防局長の開会宣言で、二〇世紀最後の大会の幕は開けられた。

開会式では、国旗・大会旗・市旗の掲揚後、

消防使命達成のため殉職された消防職員の御靈に対して黙とうを捧げ、続いて、池田(勲全國消防協会会長)、三角熊本市長のあいさつ、鈴木消防庁長官(代理・野平消防庁審議官)、徳田(日本消防協会会長)、潮谷熊本県知事、江藤熊本市議会議長の祝辞と続き、多数の方々からの祝電を代表して西田自治大臣からの祝電が披露された。さらに、大会審判長の田代北九州市消防局長による審判長指示の後、出場隊員を代表して熊本市消防局の染田光司隊員が力強く隊員宣誓を行った。

開会式の後、訓練開始までの間に陸上会場では「久蓮子古代踊り」の哀愁漂う舞いが、水上会場では約一五〇年前から伝わる「小堀流踏水術」が披露され、郷土色豊かな演技で緊張感溢れる会場の雰囲気を和らげた。

いよいよ訓練の開始である。全国から選りすぐられた救助の精鋭たちが、陸上、水上に分かれ、鋭い目つきで出番に向かう。会場の熱気に影響されたか、訓練が進むごとに徐々に天候は良くなり、火の国くまもとじふさわしい熱い訓練が繰り広げられた。スタート

前の一瞬の静寂の後、訓練を行う隊員たちの俊敏な動き、強靭な体力、磨き抜かれた技に驚きと歓声が上がる。各隊員が訓練を終える度に、会場を埋め尽くした見学者や同僚から大きな拍手が沸き、まさに隊員と会場が一体となつて訓練に挑んでいるかのようであった。

この模様は「地域衛星通信ネットワーク」により人工衛星を介して全国へ配信され、各消防本部等でも隊員たちの活躍が映し出された。会場周辺では、隊員が互いの健闘を讃え合う姿や再会を喜ぶ姿が随所で見受けられ、救助隊員の友好の輪は一層大きなものとなつた。すべての訓練が終了し、未だ熱気と興奮がさめやらぬ会場では、先の全国高校総合文化祭で最優秀賞に輝いた熊本県立牛深高校郷土芸能部による「牛深ハイヤ節」が披露され、歯切れの良い音楽と息のあつた陽気な踊りに熱気と興奮は大きな感動へと変わつていった。

閉会式では、池田大会会長から「規律厳正にして士氣旺盛な練度の高い救助技術が披露されたことに敬意を表する。今後も、地域住民の期待に応えられるよう、より一層の救助技術の鍛錬向上に努めていただきたい」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が道越熊本市消防局長から次回開催の池田東京消防庁消防総監に引き継がれ、堅い握手が交わされた後、道越熊本市消防局長が閉会を宣言すると「二〇世紀から二一世紀へ 来年東京で会いましょう」の横断幕が掲げられ、輝かしい二一世紀への架け橋となつた第一九回大会の幕は閉じられた。

猛暑の中、会場設営及び大会運営に当たられました熊本市消防局をはじめ熊本県実行委員会に対し、衷心より感謝申し上げます。

あいさつ



会長 池春雄 (財) 全国消防協会

し、昨年のトルコ共和国での地震災害においては、生存者を救出するなど、国内外からも高い評価と信頼を得ているところです。

しかしながら、近年の災害様態は、

都市化の進展、生活様式の多様化など

に伴い、各種災害・事故の潜在危険が

増大し、本年三月の地下鉄脱線衝突事

故の発生、あるいは、北海道の有珠山噴火災害や伊豆諸島における火山活動、

並びに一連の群発地震の発生等、大規

模かつ予想しがたい災害が発生してお

ります。

このような状況の中、我々消防機関

の行う救助業務は、今までにも増して

広範多岐におよび、より高度な知識、技

術と迅速な対応が求められるなど、地

域住民の期待は一層高まっております。

全国各地区支部から選抜され、本大

会に参加しておる隊員の皆さんには、さ

らり実践的な訓練を積み重ね、ありゆ

る災害に即応できる技能と強靭な体力

の習得により、一層努めるよう切望するも

のとあります。

また、この「火の国」熊本市における

これまでにおける、隊員の皆さんの

たゆまぬ訓練・研究はもとより、関係

各位の救助資機材等の改良・開発など、

多大なる尽力により、我が国の消防救

助技術は大きな充実・発展を遂げてま

りました。ついには、本大会を通じて、隊員相互の友好の輪が拡がり、大き



祝辞
熊本市議会議長
江藤正行



祝辞
熊本県知事
潮谷義子



祝辞
日本消防協会会长
德田正明



祝辞
消防厅長官(代理)
野平匡邦



あいさつ
熊本市長
三角保之



閉会宣言
熊本市消防局長
道越 賢



次期開催地あいさつ
東京消防庁消防総監
池田春雄



審判長指示
北九州市消防局長
田代昭次



開会宣言
福岡市消防局長
斎藤重義

陸上の部

鎌習船市大関東小西村山相馬地域行政
志橋川宮出相馬地方行政
谷野市市市(局)域行政

皆川風見篠田蓮見宮崎渡邊小柳梅村大谷杉沢平中玉置小玉伸二員大輔大輔
利勝義和恵治安彦樹友大輔惠治

表彰者

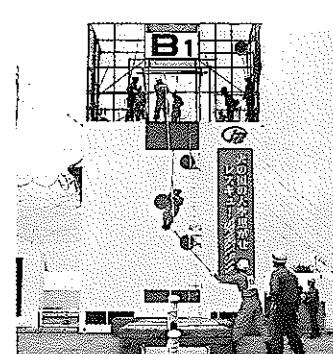


水平に展張した二〇メートルの渡過ロープを往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。

ロープブリッジ渡過(個人)

五人一組(要救助者を含む)で、斜めブリッジ救助(団体)	横浜市局
	鎌倉市
甲府地区広域行政	高橋信介
富士五湖広域行政事務組合富士五湖	望月信介
上田地域広域連合	藤田昇
松本広域(局)	赤尾浩一
田方地区(局)	宮澤弥章
近畿	渡邊喜行
東近畿	小河原信介
東海	高橋浩一
碧南市	鎌倉高橋
岐阜市	甲府地区(局)
金沢市	望月信介
大阪市	高橋信介
阪神市(局)	高橋信介
京都市(局)	高橋信介
日高市	高橋信介
大阪市	高橋信介
近畿	高橋信介
中国	高橋信介
益田広域	高橋信介
萩地区広域(局)	高橋信介
上浮穴郡生活環境(局)	高橋信介
四国	高橋信介
美馬東部(局)	高橋信介
九州	高橋信介
八女市	高橋信介
福岡県南広域(局)	高橋信介
天草地区(局)	高橋信介
指宿地区(局)	高橋信介
福岡県南広域(局)	高橋信介
及川小林山田藤島	高橋信介
邦彦敏夫慎吾潤亨信幸浩樹	高橋信介

仙台市(局)	北海道函館市
盛岡地区広域行政(局)	札幌市局
東北	表彰者
後藤花岡曾根高橋澤田合英澤田後山小山三品	高橋信介
及川小林山田藤島	高橋信介
邦彦敏夫慎吾潤亨信幸浩樹	高橋信介



三連はしごを活用して高さ七メートルの塔上に進入し、ロープで斜めブリッジを展張、要救助者を救出した後、脱出する。高所から迅速に要救助者を確保、救出するため必要不可欠な訓練。

東海	横浜市局	東京消防庁	東京消防庁	松戸市局	入間東部地区(局)	所沢市	関東浦和市
一宮市							

片山哲也	安柴成元奥田島村菊池岩永泰	伊妻一ノ宮	横高牧吉工藤井須藤竹田崎沼口	大佐伊木工藤井田崎沼口	堺石井工藤井田崎沼口	星野内杉田	阿部林昌一
	西田信二郎	徳留健次	高橋野谷工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	充宏
	隆健寛智正信一	伊妻一ノ宮	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	雄之明信毅	高橋野谷工藤井田崎沼口	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	秀彦樹康之	伊妻一ノ宮	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	宏孝俊利浩茂	高橋野谷工藤井田崎沼口	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	一良隆	吉工藤井田崎沼口	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	安邦圭直	吉工藤井田崎沼口	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	一也	吉工藤井田崎沼口	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	
	美夫功照一潔彦	吉工藤井田崎沼口	吉工藤井田崎沼口	佐木工藤井田崎沼口	坂竹田崎沼口	星野内杉田	

陸上の部

中國
岡山市
(局)

近畿
大阪市(局)

東近畿
高岡市

尾西市



押されたローブだ、手足を
使つて一枚スームル類はくわ。
壁面を躊躇つたり、足のロープを懶
ねむらぬじねく、懶せくはせ
れせぬむな。

ロープ登はん（個人）

九州
天草
(綿)

四國

矢吹文人
大介

表彰者

近畿 宇治市
大阪市
柏原市
羽曳野市
藤井寺市
金沢市
池田市
大島市
広島市
中国市
四国市
讃岐地区
九州市
北九州市
本岡市
熊本市
福岡市
市局

関東筑西広域市町村圏、筑西広域市町村圏、熊谷地区、千葉市局、印西地区、逗子市、横須賀市(局)、木戸市、厚木市

北海道
石狩北部地区事
釧路東部組
鶴岡地区事
新発田地域広域事
三条地域

松本山崎 森本米田 清水龍 宮尾中村
藤澤浅山 藤澤未松 染田光司 浩輝貴 隆敏司 將也祥弘 浩史秀章 治朗剛
山崎博史 剛三郎 治朗剛 博史剛

古橋近藤田邊垣稻鈴木原下村岡松
昭法典勝臣一也達士裕治公頼嗣正人主

菊地 英明
川端 俊司

北海道 札幌市(局) 東北 郡山地方広域

めの基本的
的な

ほふく救出（団体）



表彰者

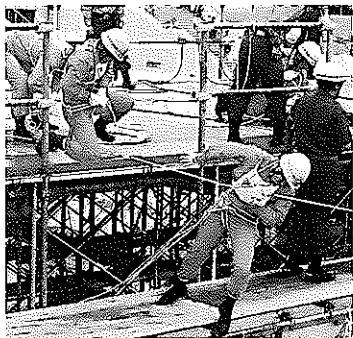
ほふく救出(団体)

猪川本岡伊藤紺野司郡須長嶋小西馬場堀近藤野口吉川

— 3 —

陸上の部

高知市局	四国	中国	新南陽市	八尾市	守口市門真市局	近畿	京都	東近畿	東海	あすけ地域(組)	大磯町	小田原市	東京消防庁
安菅野松本	菅原山本	古谷	笛川中瀬	永浜浦	箕輪松田	奥瀬上	小林村	前川岩崎	木村宮本	竹部服	鈴木	原山口	原清川
晋修慎二	修慎一	祐拓也	大樹	浩史	康文政隆	良司毅伸	直樹	昌成正弘	昌也誠	昌範悦	浩光	瀬戸雄一郎	武田一郎
登別市	北海道	表彰者	佐藤藤枝	菊池直文	大澤淳史	大澤豊	大澤義之	大澤伸	大澤幸	大澤直	大澤浩	原田貴志	貴志隆之
横浜市局	東京消防庁	埼玉県央広域	秩父	関東	白根地域	小出郷	白根地域	盛岡地区広域行政(事)	五所川原地区(事)	本下田敬太郎	柏屋北部	筑紫野太宰府(組)	九州
上京佐藤角	佐藤潤野	園田小駒	横川二山	中島永倉	木村島田	福島引間	星羅本	五十嵐吉沢	坂井野内	寺田吉田	中村太田	加納君章	平塚浅見
康英洋一也	英洋一也	智幸三則	秀紀王一	和志勝也	正樹勇男	英樹郁夫	明仁秀幸	透勤和則	吉田智則	吉田恒次	吉田貴志	君章健和	増田康介
生駒市	金沢市	金沢	東近畿	岐阜市	東海	豊田市	東海	田方地区(組)	浜松市	長野市局	相模原市	相模原市	相模原市
柏本	東平	池門山	藏石吉	高原安	藤江	河村近藤	村加藤	木村	松尾小寺	水崎中安	河島津ヶ谷	佐野吉田	中嶋吉田
英雅	輝和篤祐	尚徳朋	仁史司	勝毅人	宏哲	合五百里	富士岩	硝礦	熊谷土屋	昌行厚史	昌吾俊裕	佐野英基	佐野吉之



ロープブリッジ救出(団体)

四人一組(要救助者を含む)で、二人が渡過ロープにより対面する塔上に進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げ、けん引して救助者を隣のビルから進入し、救出することを想定した訓練。

陸上の部

相模原市 横浜市(局) 松戸市(局) 狹山市 上尾市 浦和市(局) 日立市 関東 新潟市(局)

佐藤近謙 河内驚津 佐本杉 拠幸 厚司直人 隆信
和義英美 篤志篤知 光夫 勉淳 元彥 善実
三ノ丸和明 純也下棚柄神田大場川耕伊藤木山中込内新滿本稻樹高橋井野摘縣瀬林小池秀之
良昌昌信吾一則和則利克康紀彦亮太浩二次信長慈洋希將剛大吾秀之

中國 島 市局	枚方 寝屋川 (組)	近畿 阪 市(局)	西 和(組)	東近畿 京 都 市(局)	小牧 市	東海 安 城 市
---------------	------------------	-----------------	-----------	-----------------------	---------	-------------------



はしご登はん(個人)

血印確保の命綱を結索後、「五メートルの垂直のはじ」を遵はんとする。災害建物への進入など消防活動に欠かせない技術。

九州
長崎市
(局)

四國
松山市局

下関地区広域行政事

陸上の部



障害突破（団体）

五人一組(補助者を含む)で、人が一致協力し、緊密な連携で「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作により、五つの障害を突破する。あらゆる災害現場を想定した訓練。

北海道札幌市局

表彰者

旭川市
新潟市(局)
東北
桐生広域
関東
土浦市
熊谷地区
和市
浦

上原中澤藤嶋廣中田下村紺田
廣川林保小小田佐濱須藤岸
幸一郎高志高雅學博貴志義明康
純豐裕朗香博雅學勝哉尋千平光敏亨

田方地区(續)
堺市高石市(續) 大阪市(局) 近畿 高岡市 東近畿 富山市 一宮市 東海 名古屋市(局)

中綿引千葉島野甲斐鈴木高林水口山田
英之彈也弘教和也武利大輔忍純也
史仁和晴夫秀司誠一健宏秀樹崇友
史隆和仁史和也優次郎清文克也尊
史優也鐵夫政和成貴史康大介亘進治
明史光俊吾紹治卓史亘涉

枚方寝屋川(細)
鹿児島市(同)
天草(細)
九州
筑紫野太宰府(細)
高松市(同)
四國
松江地区広域行政(細)
広島市(同)
中国

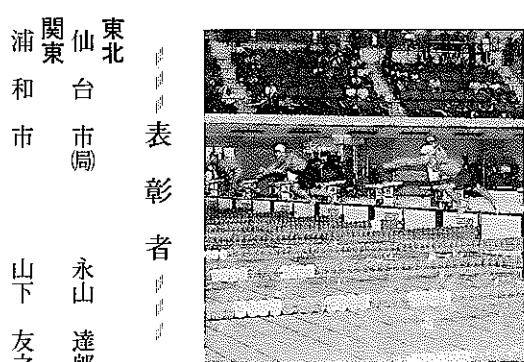
水上の部

複合検索(個人)

マスク・フィン・スノーケルを着装して、浮遊障害物を突破しながら水中のリングを検索し、引き揚げる。水中での行方不明者の検索を想定した種目。



近畿	伊丹市	京都府	東近畿	東海	東京消防庁	関東	大宮市	仙台市	東北	宮城県	福島県
大阪	都城市	都城市	都城市	横須賀市	横浜市	市川市	市川市	市川市	仙台市	宮城県	福島県
市	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)	(局)
宮芝	矢田上恒	杉田篠	見岩	江田新	佐山名	佐子	田中佐	田中佐	間秀	井上恒	松井一郎
紀幸	健司雅也	昌裕直記	喜一	智和幸博	茂淳	秀洋	一洋	一洋	晃	一郎	一郎



基本泳法(個人)

「じゅんか飛び込み」で入水後、二種類の基本泳法抜き手・平泳ぎ)を常に顔が水面に出た状態で行う。水難救助の基本技術。

九州	高知市	天草郡	大西	高知市	守門市
高遊原市	具志川市	高遊原市	中川	吉本賢一	永松浩明
南草津町	草津町	草津町	大西	吉本賢一	永松浩明
羽島郡	羽島郡	羽島郡	大西	吉本賢一	永松浩明
各務原市	各務原市	各務原市	中川	吉本賢一	永松浩明

中国	海田地区	賀茂広域行政組	西川	浦田	大坂市
高遊原市	賀茂広域行政組	永松浩明	植田典秀	森岡弘文	守門市
草津町	草津町	永松浩明	典秀	弘文	守門市
羽島郡	羽島郡	永松浩明	喜彦	寿	守門市
各務原市	各務原市	永松浩明	喜彦	喜彦	守門市

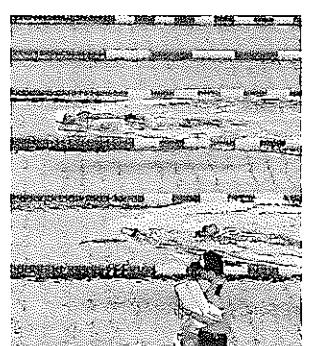
朝霞地区一部事務組合	埼玉県南西部	千葉市	大野政春
東京消防庁	東京消防庁	藤沢市	井上健太郎
各務原市	各務原市	藤沢市	潤
羽島郡	羽島郡	石川市	克至
各務原市	各務原市	山下室伏	郷志

溺者搬送(団体)

二人一組(要救助者を含む)で、救助者は「じゅんか飛び込み」で入水後、二十メートル先の溺者(要救助者)を注視しながら近づき、逆行の姿勢をとつてチンブールで確保した後、ヘアーキャリーで救

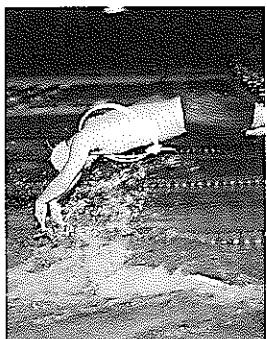
近畿	枚方寝屋川組	東近畿	名古屋市	東海	横須賀市	関東	横浜市	北海道	札幌市
京都府	京都府	京都府	名古屋市	名古屋市	横須賀市	神奈川県	横浜市	北海道	札幌市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市
神戸市	茨木市	京都市	京都市	横須賀市	横浜市	横浜市	横浜市	札幌市	札幌市
市	市	市	市	市	市	市	市	市	市

近畿	小柴真	小林高	岡村恒	吉村加	宇都秋	澤田山	布施	表彰者
京都府	仁孝幹	成幸幹	義一郎	内彰二	蟹江吉	田中竜	亮平	
市	市	市	市	市	市	市	市	
神戸市	仁孝幹	成幸幹	義一郎	内彰二	蟹江吉	田中竜	亮平	
市	市	市	市	市	市	市	市	



水上の部

關東市川市局
國藤市川市局
喜明泰至英輔
中川森川市局



水中結索(団体)

二人一組で、水中の結索環に、第一泳者「もやい結び」、第二泳者「巻き結び」、第三泳者「ふたの回り結び」、第四泳者「ふた結び」の三種類の指定された結索を行う。水中におけるロープ結索技術の習得を図る種目。

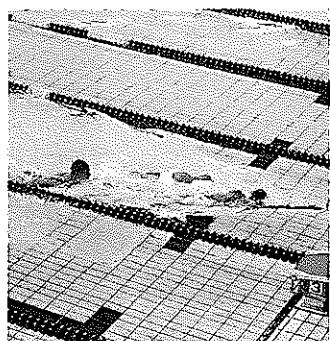


メール先の要救助者の位置まで搬送、これに要救助者をつかまらせ補助者が救助ロープをけん引して救助する。

水中検索救助（団体）

水上の部

神戸市(局)	大坂市(局)	近畿	京都都	東近畿	東京	小牧市	東海
--------	--------	----	-----	-----	----	-----	----



表彰者

中国	廣島市局	四國	阿	天	九州
香田有	達洋辰哉	重信浩治	隆英	草細	北綱
田川香川	岩藤田川	川村塩田尾花植松	戸村裕樹健作	吉本茂越羊士和裕	山下
本	本	村	村	本	
人命救助（団体）					

救助者は「二重もやい結び」の救助ロープをたすき掛けにし、溺者の位置に至り、要救助者を「クロスエーストキヤリー」の体勢で確保し、救助者のたぐり寄せるロープを利用して救助後、水没しつつある要救助者(マネキン)「救助人形」を水面に引き揚げ救助する。

人命救助團體

北海道	札幌市(局)	關東	大宮市
四國	中國 高知 北広島 市(局)	近畿 守口 市門真市(局)	東近畿 京 都 市(局)
九州	熊本 市(局)	大阪 市(局)	東海 名古屋 市(局)
	福岡 市(局)		東京消防 厅
	新出 山田	大木 一善	藤田 亮平
	菅谷 伊東	大久保 雅庄	祐二 直樹
	大西 俊行	公孝 英明	
	名児那 太一	康二 二郎	
	石田	佐橋 正樹	
	松林 中田	上野 健二	
	大橋 吉本	西川 伸明	
	山下 泰地	松吉 真三	
	浅元 中島	渡辺 親忠	
	片岡 徳弘	古味 将彦	
福田 吉庄	義久 堅二 敦	裕貴 直仁 信也	



要須 照子さん(大阪府・右側)

インタビューの項目

① 今回の救助大会を見た感想
は？

② あなたの持つ消防・救助の
イメージは？

③ これから救助隊に期待す
ることは？

④ 消防に対する御意見等があ
ればお聞かせください。

インタビュー

インタビュー



カノさん(ペルー・右側)
プラッドミルさん(ホンジュラス・左側)



マジャリさん(ヨルダン・右側)
ホセインさん(パングラデシュ・左側)

- ① 進んだ技術と救助レベルの高いブロフェッショナル！ 私の国の救助訓練では、速さを競うことをしていなかった。ロープ結索も違う。見ることが非常に楽しい訓練だ。
- ② ヨルダンへ来て、教えてほしい。
- ③ ヨルダンと日本の良好な協力関係をもつと発展させてほしい。
- ④ 経験を積んでおり、技術が高い。

- ① 主人が出場しているので初めて見にきました。青森県大会も見ました
- ② が、規模が大きくてすごいですね。
- ③ 主人は好きな仕事なので頑張っていますが、大変な仕事だと思います。
- ④ 市民のために一人でも多く、少しでも早く活動してほしいです。

- ① ホセインさん
- ② 訓練の技術を披露する非常に興味深い内容の大会だ。意識の啓発になり、同じ消防だが、レベルが違うのでこのレベルを發揮してほしい。
- ③ ヨルダンへ来て、教えてほしい。
- ④ ヨルダンと日本の良好な協力関係をもつと発展させてほしい。



寺田 利恵子さん(青森県・右側)

- ① 初めて見に来ましたが、機敏な動きを見て、毎日の訓練が人命救助につながっているんだと感じました。
- ② 我が身を顧みず人に助けに行く、厳しい仕事だと思います。
- ③ ケガに十分気を付けて、一秒でも早く人を助けてほしいと思います。
- ④ 消防には悪いイメージがありませんね。いざという時のために、これからも頑張ってください。

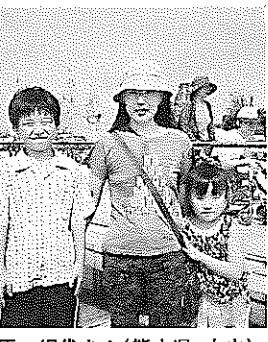
- ① 普段はなかなか見ることのできない救助技術の数々を見せていただき、とても感激しました。
- ② テレビ等で見る救助隊のイメージどおり、とても頼りがいのある人たちはかりだと実感しました。
- ③ 人命救助のためには「体力」は大切ですが、身体を壊さないよう気を

稲村 順子さん(神奈川県・左側)

- ① 救助隊員の人は体力がありそうで、でも、ぜひ青森でやってほしい。
- ② このような大会を夏祭りの時期に
- ③ まさに立派な救助隊員だと思
- ④ うござい

- ① 初めて見に来ましたが、機敏な動きを見て、毎日の訓練が人命救助につながっているんだと感じました。
- ② 我が身を顧みず人に助けに行く、厳しい仕事だと思います。
- ③ ケガに十分気を付けて、一秒でも早く人を助けてほしいと思います。
- ④ 消防には悪いイメージがありませんね。いざという時のために、これからも頑張ってください。

川上 翼さん(熊本県・左側)



市原 紗代さん(熊本県・中央)

- 皆ござい

- カノさん
- ① 救助技術が素晴らしい、速いスピードで役に立つ訓練だ。ペルーにも救助隊はあるが、日本のレベルに達していない。
- ② 救助技術がたいへん高い。
- ③ 訓練を通じて、知識と機材を提供してほしい。
- ④ (日本の方と)ペルーで知識の交流ができるれば素晴らしいと思う。

- ① 大変素晴らしい！ スピードが速く、機材が整っている。
- ② 安全管理を確保しつつ、規律が取られているのが素晴らしい。
- ③ 我が国に対し、機材が使えるように訓練してほしい。
- ④ この大会に招待いただき、皆と知り合い、学べたことがうれしい。大災害の時はお互い助け合いましょう。

- ① 初めて見に来ましたが、機敏な動きを見て、毎日の訓練が人命救助につながっているんだと感じました。
- ② 我が身を顧みず人に助けに行く、厳しい仕事だと思います。
- ③ ケガに十分気を付けて、一秒でも早く人を助けてほしいと思います。
- ④ 消防には悪いイメージがありませんね。いざという時のために、これからも頑張ってください。

稻村 順子さん(神奈川県・左側)

- つけで頑張つてももらいたいですね。
- この大会を見てもらい、救助隊が日頃から厳しい訓練を積んでがんばっている姿を理解してほしい。これからもこのような大会を続けてもらいたいです。

- 皆ござい

インタビュー



本崎 早苗さん(熊本県・右側)

④ 心だと思います。
仕事だと思います。

③ 今まで特に考えたことはありませんでしたが、この大会を見て、これまでどおり頑張っていただければ安心だと思いました。

① 初めて見に来ましたが、動きが俊敏で、よく訓練されているなと感じました。

② 死と隣り合わせの命がけで大変な仕事だと思います。



古賀 由紀子さん(愛知県・右側)

② 困った人を助けてくれる、何かあつた時とても頼りになる人たち。
④ 頑張る救助隊員の人たち、これからも頑張ってください。応援しています!



枝本 登貴子さん(岡山県)

① 全国大会は初めて見ましたが、施設がとても立派だと思います。準備がとても大変だったと思います。とても盛り上がっていますね。
② 消防の仕事はとても厳しい感じがします。好きでないと務まらないと思います。
③ このような大会を目標に一生懸命訓練を重ね、より一層の救助隊の連携感を深めていただきたいと思います。
④ 厳しい訓練により隊員の和ができると思うので、このような目標となる大会は続けていくべきだと思います。

① 世の中には、こんなにすごいことができる人たちがいるんだな、と改めて感じました。
② とても頼もしい人たちだと思います。この人たちがいれば大丈夫という感じです。
③ 服装も髪型も消防本部バラバラですが、二一世紀の救助隊はもつと目立つユニフォームで格好いい发型の方が多いと思います。
ケガに気をつけて、頑張ってください。ずっと消防を応援しています。

大会経過

第1回	昭和47年9月28日 東京都 豊島園
第2回	昭和48年9月21日 大阪市 扇町公園
第3回	昭和49年9月18日 横浜市 県立保土ヶ谷公園
第4回	昭和50年9月10日 東京都 平和島公園
第5回	昭和51年9月10日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第6回	昭和52年8月18日 横浜市 消防訓練センター
第7回	昭和53年8月22日 千葉市 県消防学校
第8回	昭和54年8月24日 大阪市 消防学校
第9回	昭和55年8月29日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第10回	昭和56年8月19日 横浜市 消防訓練センター
第11回	昭和57年8月19日 横浜市 消防訓練センター

第12回	昭和58年8月19日 大阪市 大阪城公園・消防学校
第13回	昭和59年8月24日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第14回	昭和60年8月23日 広島市 中央公園・県立屋内プール
第15回	昭和61年8月22日 神戸市 市民防災総合センター・ 神戸市王子プール
第16回	昭和62年8月21日 千葉市 県消防学校
第17回	昭和63年8月19日 横浜市 消防訓練センター
第18回	平成元年8月25日 名古屋市 白川公園・瑞穂プール
第19回	平成2年8月24日 広島市 中央公園・ファミリープール

第20回	平成3年8月28日 大阪市 消防学校
第21回	平成4年8月28日 千葉市 県消防学校
第22回	平成5年8月20日 福岡市 アジア太平洋センター建設用地・県立総合プール
第23回	平成6年8月25日 京都市 消防学校
第24回	平成7年8月25日 北九州市 北九州市文化記念公園
第25回	平成8年8月23日 札幌市 札幌市消防訓練場・札幌平岸プール
第26回	平成9年8月22日 千葉市 県消防学校
第27回	平成10年8月28日 大阪市 消防学校
第28回	平成11年8月19日 横浜市 消防訓練センター

大会ダイジェスト





第19号

平成12年9月24日発行

編集
発行

(財) 全国消防協会

〒102-8119 東京都千代田区飯田橋3-11-13
(飯田橋豊國ビル) 電話03(3234)1321(代)